電子研修手帳操作マニュアル

専攻医側

0	電子研修手帳 全体の流れ	P2
1	アクヤスの方法	P3
_	(1) ログインページにアクセスする	
	(2) 研修手帳・評価登録にアクセスする	
	(3) 今日専田に研修手帳が表示されない場合について	
2		P4
~		14
	(2) 日口計価でする項目で送がする (2) 白口証価をする (2) 白口証価をする	
	(3) 日口評価でする	
	(4) 評価を修正 9 る	
~		DC
3		P0
	(1) 目 に 評価 人 J を クリック 9 る	
	(2) 経験9へき症例数を人力項目を選択9る	
	(3) 経験すべき症例数を人力する	
	(4) 経験すべき症例数を保存する	
4	自己評価一覧確認	P7
	自己評価一覧確認をクリックする	
	よくある事例と対処法	
5	勤務歴登録	P8
	フロクラム制	
	(1) 勤務歴登録(フログラム制)をクリックする	
	(2) 勤務歴を入力する	
	(3) 勤務歴を保存する	
	(4) その他注意点	
	カリキュラム制	
	(1) 勤務歴登録(カリキュラム制)をクリックする	
	(2) 区分選択	
	(3) 勤務歴を入力する	
	(4) 勤務歴を保存する	
6	修了判定依頼	P13
	(1) 修了判定依頼をクリックする	
	(2) [修了判定依頼]のボタンをクリックする	
	(3) 「統括責任者へ送信」のボタンが現れない場合	
7	修了証出力	P15
	(1) 修了証出力をクリックする	
	(2) 専門研修修了証がPDFで出力されます。	
	(3)修了証出力が可能な期間について	
道	运	
-1		P16
31	$(1) \Box f A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla T + \nabla A = \Im [\nabla D + \nabla A = \Im [\nabla A = [\nabla A = \Im [\nabla A = $	1 10
	(1) ロノコノハ ノにノフヒヘック (2) 研修千框・評価容録にマカヤフォス	
c 7		D17
52		F 17
	 (1) 相等区計価人力でクリックタる (2) 証価を1 カオス項目を認わする 	
	(2) 評価を入力9つ項日を迭折9つ (2) 評価を入力9つ項日を迭折9つ	
	(3) 評価を入力9つ	
	(4) 評価を修正 9 る	
		D10
s3		
	※この機能はノロクラム統括貢仕者に登録されているタ	七生に社つきます
	 (1) 修 「判定依頼をクリックする 	
	(2) [修了]のホタンをクリックする	
	(3) 差し戻し のホタンをクリックする	
• ~	(4)1115111に戻9力法についし	
٩Ç		
	<u>https://tayori.com/q/denshikenshutecho/</u>	

上記URLにアクセスしてご確認ください。いただいたお問い合わせに応じ随時更新をいたします。

0 電子研修手帳 全体の流れ



1 アクセスの方法

- (1) ログインページにアクセスする
 - R

会員専用ページ ログイン ・### 会日登号 ・パスワード パスワード・

会員専用ページ

https://member-new.jarm.or.jp/mypage/ にアクセスし、 会員番号と会員ログインページのパスワードを入力ください。

(2) 研修手帳にアクセスする



会員専用ページ右側にある研修手帳をクリックします。



(3) 会員専用に研修手帳が表示されない場合について

電子研修手帳の情報は、基幹施設の[研修施設> 専攻医登録]の情報に紐づく仕組みです。 基幹施設における専攻医情報がまだ登録されていない可能性があります。 プログラム統括責任者に下記より専攻医登録を依頼してください。 **研修施設ページ** <u>https://member-new.jarm.or.jp/facility/facility_index.php</u>

登録後、学会での承認手続き(約3~4か月)を経て、利用可能となります。

2 自己評価をする

(1) 自己評価入力をクリックする (ほねいにビアーション版ヤターをナダ相参考 で こ

自己評価入力をクリックします。



(2) 自己評価をする項目を選択する

評価を必要する項目(大分類>中分類>小分類)を選択をします。

大分類	中分類	小分類
	日本リハビリテーション医学会・電子研修手橋 回207802 島ダミー専攻国	R日本リハビリテーション医学会・電子研修手帳 60007802 上タンー専た田
	第1年一ム)自己詳細入力)1税令・基礎科学	第二十二、自己建築人力11、総合・高級科学2019ハビジアーション書学の総合・意義・対象・住地の
	I 概念·基礎科学	(1) リハビリテーション医学の理念・意義・対象・仕組み
自己評価入力		BEZHINE SHUTCEEDU V BEHNAN
NE MI	(1)リハビリテーション意学の信念・音楽・対象・15組み (2) 数米和当学	田康レベルについて 昭論の評価基準 Aに非にAに対応する Aに非にAに対応する Aに非にAに対応する Aには非に注した Aには非に注した Aにはは非に注した Aにおいたもの Aにおいたもの Aにおいたもの Aにおいたもの Aにおいたもの Aにおいたもの Aにおいたもの Aにおいた All Al
1. 総念-基礎科学	(3) 版乐主进平	E4
目 リハビウテーション診断	(4) 混動学,パイオメカニウス	期 現在10月1日 第二日 現在10月1日 日本 日本 日
■ リハビリテーション治療	- ホームへ戻る (保存) 大分類へ戻る (保存)	A 884 8278
1/ 940(8)3585		# 10 2 2 8 8 (150 - ADL-DOL) A 10 20 20 30 20 40 LUB 1 2 3 2
∨ 医療倫理・社会性など		ら対象(対象になる成表・応告・病 単) A 19次 2年次 3年次 4年以3年 1 2 3 2
		Q1011ビ9F→232価務チーム A 1単次 2年次 3年次 4年以降 1 2 3 2
		d 急性熱・回復熱・生活物のリハビ リテーション伝学・活剤の考えかた A 1年次 2年次 3年次 4年以降 1 2 3 2
		● W11±31サーション35年-国際の 利会業額 (1年次 2年次 3年次 4年以降 1 2 3 2
		少一止へ混る(第四)

(3) 自己評価をする

	R 日本リハビリテーション医学会 - 電子研修手帳								
#ホーム)自己評価入力)Ⅰ 概念・基礎科学)(1) リハビリテーション医学の理念・意義・対象・仕組み									
(1) リハビリテーション医学の理	(1) リハビリテーション医学の理念・意義・対象・仕組み								
専攻民経験: 退択してください 💙 🚨一紙入力	専攻政経験 副校してください 💙 音一般人力								
到達レベルについて A: 正確に人に認明できる B:よく昭和している C: 相応を記録している 2: 相応を記録している		総論の 3:日禄 2:ほぼ 1:さら	評価基2 に達した 日根に達 に努力を引	構 した 反する					
1000	對達 レベ ル		н	専攻団 随年	【入力		128	1	脂帯
a 理念と意義(活動・ADL・QOL)	A	1年次	2年次	3年次	4年以降	1	2	3	
b 対象(対象となる疾患・障害・病態)	A	1年次	2年次	3年次	4年以時	1	2	3	
cリハビリテーション医療チーム	A	1年次	2年次	3年次	4年以降	1	2		
		_	0.00100	38.77	4年以降	1	2	3	
d 急性期・回復期・生活期のリハビリテーション区学・ 区療の考えかた	A	1年次	24-10				_		
d 急性剤・同復剤・生活剤のリハビリテーション医学・ 医療の考えかた e リハビリテーション医学・医療の社会実験	A A	1年次 1年次	2年次 2年次	3年次	419.3239	1	2	3	

経験年と自己評価をクリックして選択してください。 選択後は色が変わります。 1 → 1 入力後はホームへ戻る(保存)や 中分類へ戻る(保存)を押してください。 ※各戻るを押すことで自動保存されます。 「注意:全ての入力や評価を終えた後に自己評価を保存すると、 再度指導医による評価が必要になります。 この点を留意しながら入力・保存を行ってください。」

(4) 評価を修正する



経験年と自己評価はクリックで変更が可能です。

自己評価に関しましては、クリックするとON/OFFが可能です。 自己評価に関しましては、クリックするとON/OFFが可能です。

入力後はホームへ戻る(保存)や 中分類へ戻る(保存)を押してください。 ※各戻るを押すことで**自動保存**されます。

(5) その他機能について

1)一括入力について

専攻医経験:のプルダウンを選択して一括入力をクリックすると、



選択した年次が全ての小項目に入力されます。

1年次	2年次	3年次	4年以降	1年次	2年次	3年次	4年以降
1年次	2年次	3年次	4年以降	1年次	2年次	3年次	4年以降
1年次	2年次	3年次	4年以降	1年次	2年次	3年次	4年以降

2)入力情報更新の回避について



名と

赤枠の箇所(下記にも記載)をクリックすると自動保存はされずに、

入力情報更新を回避することができます。

ブラウザの[戻る]ボタン(見え方等はブラウザによって異なります。)

 ▲ホーム

 【■本リハビリテーション医学会・電子研修手帳

 ●ホーム

 *ホーム

 *ホーム

 *ホーム

 *ホーム

3 経験すべき症例数

自己評価入力をクリックします。



(2) 経験すべき症例数を入力項目を選択する

評価を必要する項目(大分類>中分類)を選択をします。

大分類	中分類	
	■ 日本リハビリテーション医学会・電子研修手(● ラーム)自己所能入力)(1)協会管理支-国际外体など	4
自己評価入力	(1)脳血管障害・頭部外傷なと	全体で結除すべき症例数 17 ▼ /15件以上
ACIA		規築すべき症何数
1 載念-暴徹科学	 (1) 新生活時期 	14 ¥ / 13 件以上
王 いへビリテーション対象	 (2) IEEE PA (8) 	2 ♥/2件以上
目のパリテーション物像	 新設備、水道信など 	1 ¥
v 9489.68	ホームへ戻る (W	(の) 大分類へ戻る(係の)
V 医療倫理-社会性など		
5 2	1	
(0)協会装除者-講部杯集など		

(3) 経験すべき症例数を入力する

経験すべき症例数を入力する症例数をプルダウンで選択します。



(4) 経験すべき症例数を保存する



入力後はホームへ戻る(保存)や 大分類へ戻る(保存)を押してください。 ※各戻るを押すことで**自動保存**されます。

「全体で経験すべき症例数」は、中分類内の 「経験すべき症例数」の合計値が自動表示されます。

※「修了判定依頼」は、自己評価・指導医評価の入力だけでなく、 各中分類の「経験すべき症例数」や「全体で経験すべき症例数」も 必要件数を満たしている必要があります。

4 自己評価一覧確認



自己評価一覧確認をクリックします。

V DWALCAL - NUMBER OF LAUGHT			1000 - 07100 00	
ホーム 2日己界伝一派派表				
☆ 自己評価一覧	[確認			
概念·基礎科学				
1) リハビリテーション医学の理念・夏雲・対象・仕組み				
項目合称	7621-	ß	2996	指導器評領
a 連会と買慕(派動-ADL-DOL)	A.	3	3年22	
b 対象 (対象となる疾患・障害・病類)	A	3	3年次	
cリハビリテーション国際チーム	A	2	3年次	
d 急性期・回復期・生活期のリハビリテーション選挙・選携の考えかた	A	3	3年次	
e リハビリテーション国学・国際の社会賞献	A		3年次	
2) 臨床解剖学				
項目名称	発表し	Ĥ	日本の	信導統評領
□安・開節・勘栄	A	1	1年次	2
b景格館	A			
○神経系(Ⅲ-脊焼·未用神経-自律神経)	A			
d 獲現務系	A			
e 呼吸器系	A			
f 提良賬下	A			
g 樂謝斯	A			
 3) 臨床生理学 				
項目名称	2(2)-	Ĥ	日本日本	把导应并误
a 景級的の注理「エネルビー(F附本含む)	400	_		
ト経過・構造の生態	A			
の変動風味時の確保生理	A			
の 運動学、バイオメカニクス				
项目名称	剣道レ	R	己种省	指導因評領
	~t/L			
a間町の運動学	A	2	3年次	
D上版の資本期作	A	2	3年次	
0 下肢の基本動作(歩行を言む)	A	2	3年次	
d バイオメカニクス	B	2	3472	

自己評価および指導医評価を確認できます。 赤色表示されている行は、自己評価および 指導医評価が完了していない項目を示します。

よくある事例と対処法

自己評価と指導医評価がすでに入力済みであるにもかかわらず、 赤色表示が続く場合は、以下の理由が考えられます: 自己評価および指導医評価が完了後、専攻医が小分類を閲覧し、 [ホームへ戻る(保存)]または[中分類へ戻る(保存)]を実行すると、小分類の値が更新され、 これにより、更新された小分類について再度指導医評価の入力が必要となります。 この場合も、未完了項目として行が赤色表示されます。

5 勤務歴登録

プログラム制

(1) 勤務歴登録(プログラム制)をクリックする



(2) 勤務歴を入力する

勤務歴登録: プログラム制

勤	務歴								+ 3	行追加
		期間 (開始~終	了)			施設	犬況	施設名		
	1	年/月/日		年 /月/日			\$			
	2	年 /月/日		年 /月/日			٠			
	3	年7日7日	n ~	年/日/日	m					

期間の入力

「期間 (開始 ~ 終了)」欄に、開始日と終了日を入力します。 カレンダーアイコンをクリックすると、日付を選択することも可能です。 勤務歴を時系列で登録いただかないと、 修了証書が正常に出力されませんのでご注意ください。

施設状況の選択

「施設状況」欄のプルダウンメニューをクリックし、

選択肢から適切な施設状況(例:「基幹」、「基幹/回復期」、「連携」など)を選びます。 基幹施設で且つ回復期病棟である場合は[基幹/回復期]をお選びください。 連携施設で且つ回復期病棟である場合は[連携/回復期]をお選びください。 休止期間は[休止]をお選びください。6か月までカウントされます。

施設名の入力

「施設名」欄に、該当する施設の名称を入力します。

行追加

行が不足する場合は[+ 行追加]をクリックします。これにより新たな行が追加されます。

(3) 勤務歴を保存する

10 年/月/日 🗂 ~	年/月/日 🗖		
※休職や離職期間は「施設状 ※記入する行が足りない場合	況」を「休止」を選択し、期間を入 は右上の「行追加」ボタンより行	カしてください。 を追加してください。	
	ホームへ戻る	保存	
保存			
入力した内容を低	呆存します。		
2023/04/01 🗖 ~ 2024	4/09/30 📋 18ヵ月	基幹 ◆	XXXXXXXX大学
保存をすると期間][●ヵ月]が表示	えれます	

ホームへ戻る

保存されずにホームに戻ります。注意ください。

(4) その他注意点

関連施設

関連施設での研修は、1施設あたり最大3単位、全体で合計6単位までが上限です。 ただし、以下のケースの赤枠の箇所は

+ 行追加

本来勤務歴に加算されないため「0カ月」と扱われますが、

仕様上「3カ月」と表示されます。この表示は勤務歴には反映されません。

<u>++</u> L	347	all all all a
- 単刀	ホン	44
毛川	455	ΠĒ

	期間 (開始~終了)	施設状況	施設名
1	2018/04/01 📋 ~ 2018/09/30 📋 6ヵ月	基幹 🗲	XXXXXXXXX大学
2	2018/10/01 📋 ~ 2018/12/31 📋 3ヵ月	関連 ◆	XXXX病院
3	2019/01/01 📋 ~ 2019/03/31 📋 3ヵ月	関連 🗧	XXXXリハビリテーション病防
4	2019/04/01 📋 ~ 2019/06/30 📋 3ヵ月	関連 💠	XXXXリハビリテーション医療
5	2019/07/01 📋 ~ 2021/03/31 📋 21ヵ月	連携/回復! ≑	XXXXXXXXX病院

休止

休止・中断は6か月以内なら研修期間の延長不要で、

6か月を超える場合、研修期間を延長します。

累計期間が6か月を超えた場合でも、仕様上「6か月」と表示されます。

4 2019/04/01 🗖 ~ 2020/03/31 🗖 6ヵ月 休止 🕈

5 勤務歴登録

カリキュラム制

(1) 勤務歴登録(カリキュラム制)をクリックする



(2) 区分選択

区分選択

下記より選択してください
ダブルボード (整形外科・外科・小児科または内科(日本専門医機構認定に限る)の専門研修を修了した者、もしくは修了見込みの者で、 リハビリテーション科領域の専門研修を開始・再開する者)
2.出産、育児、介護、療養等のライフイベントにより、休職・離職を選択する者
3.義務年限を有する医科大学卒業生、地域医療従事者(地域枠医師等)
4.海外・国内留学する者
5.臨床研究医コースの者
6.その他、学会と機構が認めた合理的な理由のある場合(パワハラ等を受けた等)

区分選択

1.ダブルボード

(整形外科・外科・小児科または内科(日本専門医機構認定に限る)の 専門研修を修了した者、もしくは修了見込みの者で、

リハビリテーション科領域の専門研修を開始・再開する者)

- 2.出産、育児、介護、療養等のライフイベントにより、休職・離職を選択する者
- 3.義務年限を有する医科大学卒業生、地域医療従事者(地域枠医師等)
- 4.海外・国内留学する者
- 5.臨床研究医コースの者
- 6.その他、学会と機構が認めた合理的な理由のある場合(パワハラ等を受けた等)

1.ダブルボード の場合は下記の入力と選択をします。

取得 済他領域 専門医 名	整形外科	外科	小児科	内科
取得年月日	年/月/日			
認定区分	機構		学会	È
更新予定年月日	年/月/日			
更新後の認定区分	機構		学会	ł

あれば

「研修前基幹施設相当勤務歴」の期間、と施設名を入力してください。 研修前基幹施設相当勤務歴

	期間 (開始~終了)	施設名
1	年/月/日 🗖 ~	
	年/月/日	

(3) 勤務歴を入力する

勤	務歴				+	- 行追加
		期間 (開始~終了)	施設状況	施設名	勤務時間	専従
	1	年/月/日 🗖 ~ 年/月/日 🗖	\$		✔ /週	•
	2	年/月/日 🖬 ~ 年/月/日 📋	+		✔ /週	+

期間の入力

「期間 (開始 ~ 終了)」欄に、開始日と終了日を入力します。 カレンダーアイコンをクリックすると、日付を選択することも可能です。 勤務歴を時系列で登録いただかないと、 修了証書が正常に出力されませんのでご注意ください。

施設状況の選択

「施設状況」欄のプルダウンメニューをクリックし、

選択肢から適切な施設状況(例:「基幹」、「基幹/回復期」、「連携」など)を選びます。 基幹施設で且つ回復期病棟である場合は[基幹/回復期]をお選びください。 連携施設で且つ回復期病棟である場合は[連携/回復期]をお選びください。 休止期間は[休止]をお選びください。6単位までカウントされます。

施設名の入力

「施設名」欄に、該当する施設の名称を入力します。

勤務時間

週当たりの勤務時間を入力します。

専従

「リハビリテーション部門の専従」であるか否かを入力します。

行追加

行が不足する場合は[+ 行追加]をクリックします。これにより新たな行が追加されます。

(4) 勤務歴を保存する

有 \$

保存をすると期間[●単位]が表示されます

ホームへ戻る

保存されずにホームに戻ります。注意ください。

5 修了判定依頼

(1) 修了判定依頼をクリックする
R 日本リハビリテーション医学会・電子研修手続 ■ ホーム
島専攻医
自己評価入力 日己評価入力
自己評価一覧確 修了判定依頼 (使該責任者) 通信 第務歴登録 (プログラム物) 第7臣出力
(2) [統括責任者へ送信]のボタンをクリックする
▶ 電子研修手帳
▲ 修了判定依頼
統括責任者へ送信
 2 各項日において設定された「経験すべき症例数」
お上び「全体で経験すべき症例数」を満たしていること、※
3 勤務歴を満たしていること。
という条件で現れます。
下記の画面になりましたら、送信完了です。
プログラム統括責任者に修了判定を依頼してください。
▶ 日本リハビリテーション医学会 - 電子研修手帳
★ホーム)修了判定依頼

修了判定依頼を送信致しました。

カリキュラム制では、※1,2はシステム上、任意項目としております。
自己評価と指導医評価は両方完了が必須です。
自己評価のみでも修了判定依頼が可能なため、ご注意ください。
修了判定依頼前に[自己評価一覧確認]にて、指導医評価が未入力箇所を確認し、
指導医評価が欠けていれば依頼してください。

(3) [統括責任者へ送信]のボタンが現れない場合

以下の点について今一度確認ください。

1 自己評価および指導医評価がすべて完了していること。

自己評価一覧確認にて入力状況をご確認いただけます。 赤色表示されている行は、自己評価および指導医評価が完了していない項目を示します。

よくある事例と対処法

自己評価と指導医評価がすでに入力済みであるにもかかわらず、 赤色表示が続く場合は、以下の理由が考えられます: 自己評価および指導医評価が完了後、専攻医が小分類を閲覧し、 [ホームへ戻る(保存)]または[中分類へ戻る(保存)]を実行すると、小分類の値が更新され、 これにより、更新された小分類について再度指導医評価の入力が必要となります。 この場合も、未完了項目として行が赤色表示されます。

2 各項目において設定された「経験すべき症例数」

および「全体で経験すべき症例数」を満たしていること。

「経験すべき症例数」および「全体で経験すべき症例数」については、 基準を満たしていない場合でもアラートが表示されない仕様となっています。 そのため、各項目の症例数が必要数を満たしているかを 自己評価入力(各中分類)の入力の内容を確認してください。

3 勤務歴を満たしていること。

希ホーム)修了判定依頼

▶ 修了判定依頼

①「ホーム > 勤務歴登録」より「勤務歴」をご確認ください
 ① 基幹施設は1施設以上、勤務歴が必要です
 ① 基幹施設は6単位以上、勤務歴が必要です
 ① 連携施設は1施設以上、勤務歴が必要です
 ① 連携施設は3単位以上、勤務歴が必要です
 ① 回復期は6単位以上、勤務歴が必要です

勤務歴については下記も併せて参照ください。

リハビリテーション科専門研修プログラム整備基準[日本専門医機構承認]

新専門医制度下のリハビリテーション科領域カリキュラム制(単位制)による研修制度

7 修了証出力



※統括責任者から[修了判定]を得ると

修了証出力をクリックできるようになり、

⑥修了判定登録済み

の表示が現れます。

(2) 専門研修修了証がPDFで出力されます。



(3) 修了証出力が可能な期間について

専攻医が専門医試験に合格した年度の翌年度4月1日をもって、 電子研修手帳上の専攻医と研修施設の紐づけを解除します。 紐づけ解除後はデータの復元ができませんので、 それまでに研修修了証および研修記録リストのPDFデータを必ず保存してください。

s1 アクセスの方法

(1) ログインページにアクセスする



(2)研修手帳:評価登録にアクセスする



会員専用ページ右側にある 研修手帳:評価登録をクリックします。

(3) 評価する専攻医を選択する



専攻医一覧に遷移します。 評価をする選考を選択ください。

(選択した専攻医の) 電子研修手帳のホーム画面に遷移します。

s2 評価を入力する

(1) 指導医評価入力をクリックする

指導医評価入力をクリックします。



(2) 評価を入力する項目を選択

評価を必要する項目(大分類>中分類>小分類)を選択をします。

大分類		中分類		小分類					
		民日本リハビリテーション医学会 - 電子研修手帳	10007802 晶ダミー専攻医生	■ 日本リハビリテーション医学会	- 电子研修	H.	65 2079	e #1	re- e ns
		······································		······	R SEL WARVE	-5428908	0.88-22	18.6	
		Ⅰ 概念•基礎科学	1	(1) リハビリテーション	と医学の	理念・意	義·対	限・作	土組み
62	評価入力	* PROS SENETTS			-16.57				
1EM		(1) リハビリテーション営学の理念・音賞・対象・仕組み (2) 気味知知学		到達レベルについて A:20%に入に回りてきる B:34%に対している C 20%を20%している	1	23歳の評価者 2.日前に決し 2.日前に決し 2.日前日前に 1.日前日前に 1.日前日前日	58. 5. 381.5.		
1 救急,基礎科学		(3) 現牙支援学		111					
11 リハビリテーション設置		(4) 運動学、バイオメカニクス		905	料道し		181.A.D		
ヨ リハビリテーション治療		ホームへ戻る(保存) 大分類へ品	(%#)		м А				
7/学術的活動				# 〒3と草菜(25約+ADL-000)	A 1972	24.32 34.3	418-2238	1	2 9 2
∨ 医療保護・社会性など				6 対象(対象となる疾患・障害・病 薬)	A 157.27	2年次 3年3	419.2230	1	2 3 2
				ロリハビリテーション活着チーム	A 1年次	283 393	49.229	1	2 3 2
				e 夢性期・同律期・生活期のリハビ リテーション伝導・広僚の考えから	A 182	2年次 3年3	41/12/10	1	2 3 2
				e リハビリテーション哲学-医療の 利会資産	A 1年次	2年次 3年7	495208	1	2 3 2
				*-4 4 848	9477)	99 8 48	lā (1997)		

(3) 評価を入力する

CONTRACT DISCOURSE AND										_
朝後してにある。		総論の	评価基注	8						_
A:正規に入に説明できる Bによく理解している C:規築を提解している		3.目标 2.444 1.36	に達した 目標に達 に努力を開	した 数ダる						
3 00	別連レベ		łT	商攻2 製年	i入力		12.14	a 1		9 EK.
a 理念と思義 (活動-ADL-QOL)	A	142	2年次	3年次	49508	ī,	2	3	1	2
b 対象(対象となる疾患・障害・病態)	Α	1年次	2年次	387.72	417.008	1	2	3	1	2
cリハビリテーション医療チーム	A	1年次	2年次	3年次	491038	l I	2	з	1	2
	A	1年次	2年次	神农	49308	1	2	з	1	2
d 単位剤・目使剤・生活剤のワハビリテーション医学・医療の考え かた。										

指導医入力の評価ボタンをクリックして選択してください。 選択後は色が変わります。 1 📫 1 入力後はホームへ戻る(保存)や 中分類へ戻る(保存)を押してください。 ※各戻るを押すことで自動保存されます。 ※専攻医の自己評価は指導医では操作できません。 ※専攻医が評価していない項目は評価できません。





中分類へ戻る(保存)を押してください。 ※各戻るを押すことで自動保存されます。

(5) その他機能について

入力情報更新の回避について



赤枠の箇所(下記にも記載)をクリックすると自動保存はされずに、

入力情報更新を回避することができます。

~	ブラウザの[戻る]ボタン(見え方等はブラウザによって異なります。)
R 日本リハビリテーション医学会 - 電子研修手帳	ヘッダーの日本リルビッテーション医学会電子研修手帳の箇所
常ホーム	トピックパスのホームの箇所
I 概念·基礎科学	トピックパスの中分類名の箇所



s3 修了判定 ※この機能はプログラム統括責任者に登録されている先生に紐づきます。

(1) 修了判定をクリックする

[専攻医一覧]もしくは[ホーム画面]から[修了判定]をクリックします。

<i>専攻医一覧</i>		ホーム	画面			
え 電子研修手帳		■ 日本リハビリテー ★ == ル	ション医学会 - 1	电子研缩手锁		
※ 複数タブ、複数ウィンドウで、同時にこ	アクセスしないでください。			盏 専	攻医	
専攻医一覧				国際		⑦
●●大学病院リハビリテーション科	専門研修プログラム			● 师子利定依赖中		
リハ科 太郎	プログラム制	-				
リハ科 次郎 佐藤 花子 修7判定 2	(カリキュラム制) (プログラム制)	150	全 +低一取確 15	(計)つくドウが開きま (計)つくドウが開きま	(7079ム制)	専攻医一覧に戻る
	(プログラム					
山田次郎	カリキュラム制		467 (福麗力			

(2) [修了]のボタンをクリックする

修了と判定する場合は修了のボタンをクリックしてください。

(3) [差し戻し]のボタンをクリックする

<u>修了と判定しない場合</u> は	钆戻	しの	ボタ	ンをクリ	ックしてくだ	5
R 日本リハビリテーション医学会 - 電子研修手帳 #45#8		-				
修了村定						
▲ 修了判定	E登録					
専攻国: さんの修了1 「 変し戻し」 1 初令・算び続け学	判定を登録してく 了	ださい				
 1 144-CX GD WE14 J- (1) リハビリテーション医学の理念・意義・対象・仕組み 						
項目名称	到達レベル	Ê	已評価	指導医評価		
a 理念と意義 (活動・ADL・QOL)	A	2	1年次	3		
b 対象(対象となる疾患・障害・病態)	A	3	1年次	3		
c リハビリテーション医療チーム	A	3	1年次	3		
d 急性期・回復期・生活期のリハビリテーション医学・医療の考えかた	A	3	1年次	3		
eリハビリテーション医学・医療の社会貢献	A	3	1年次	3		

[修了]、[差し戻し]いずれの場合も下記画面に遷移しましたら完了です。

いずれの場合にも、専攻医に判定をした旨、お知らせください。

R 日本リハビリテーション医学会 - 電子研修手帳 修了判定) 登録

修了判定を登録しました。

(4) 修了判定前に戻す方法について

修了判定前の状態に戻す場合は、 電子研修手帳事務局(denshikenshutecho@jarm.or.jp)までご連絡ください。 事務局よりシステム会社へ修正依頼を行いますため、 反映まで数日要する場合があります。